

日本の社会にこころの健康セーフティネットを



EAPメンタルヘルスカウンセラー
活動コンテスト2021 受賞者のみなさん
左から、藤井亜紀さん・吉田彩子さん・北見利子さん

EMCA機関誌 Cor-こる-

NO.13

Cor(こる)……ラテン語でこころを意味する言葉
2021.JUL

<https://www.emca.or.jp/>

CONTENTS

EMCA 第8回 通常総会・速報

通常総会報告
分科会研修会

Close up CO

EAPメンタルヘルスカウンセラー活動コンテスト2021
受賞者の活躍レポート
第4回 EMCAオフィシャル研修プログラム
EMCA全国支部会キックオフ

EMCAアカデミー

2021年度秋期講座スケジュール

EMCA NEWS

Participants

358

Satisfaction

73.1%

358名 … Participants (総会参加者合計)
73.1% … Satisfaction (総会への満足度)

EMCA®

発行:NPO法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会

中期事業計画と主要テーマ

第1次中期事業計画（2013年度～2015年度）	協会の創設／eMC資格の開始	<育成>
第2次中期事業計画（2016年度～2020年度）	資格取得者の研修強化	<研修>
第3次中期事業計画（2021年度～2025年度）	地域における活動実践の推進	<活用>

上記中期事業計画に対応した協会施策

第1次中期事業計画	①協会設立と東京都認証NPOの取得 ②eMC資格認定試験の定期実施	(2013～)
第2次中期事業計画	①EMCAキャリア部会の設置 ②EMCAアカデミーの設置	(2018～)
第3次中期事業計画	①EMCA全国支部会の設置 ②初期研修制度受講義務化開始	(2021～)



ネット空間でライブ感をどう出すか、ストレスのない進行がオンライン開催の課題ですが、今回は運営もスムーズでよかったと高評価をいただきました



理事：秋谷 裕二
理事：嶋田 茂久
理事長：松田 直之
事務局：中田 博幸
幹事：杉尾 哲也
理事：石川 裕理



NPO法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会(EMCA) 第8回 | EMCA通常総会のご報告

去る2021年6月13日、第8回となるEMCA通常総会が東京・新宿にて開催されました。長引くコロナ禍により、昨年に続きオンライン開催となりましたが、出席者は過去最高の358人。これまで以上に多くの関心を集める中、EMCAの活動指針や今後の事業計画が発表されました。

EMCAは2021年度で協会設立9年度目を迎えました。今年度中にはeMCの正会員およびキャリア部会のキャリア会員を合わせて、2000名の大台に到達し、協会としてもひとつの区切りを迎えることとなります。

2020年度が最終年度の第2期中期事業計画の重点テーマは「会員の研修体制の強化」でしたが、EMCAアカデミーの設立(2018年)に続き、いよいよ新規協会登録者を対象とする「初期研修の受講義務化(全90時間)」が開始されました。認定校でのカリキュラム充実(12.5時間化)と共に、全21.5時間での一貫教育体制を構築して、会員の専門知識とスキルの強化に取り組めます。

また、法人会員の株式会社日本ライセンスバンク様の使途限定型寄付により、EMCAアカデミーの受講料の割引が同時に開始されました。新規会員だけでなく既存会員の方にも幅広くご利用いただきたいと思います。

第3期中期事業計画が開始

今年度から2025年度までの5年間を区切りとする第3期中期事業計画がスタートしました。第3期では、第1期での「育成」、第2期での「研修」という大きな文脈の流れを受け継いで、活動実践の推進「活用」がメインテーマとなります。

EMCAのビジョンは「日本の社会にこころの健康(メンタルヘルス)のセーフティネットを」構築しようというものです。

たとえば労働者については、いざという時の雇用保険(失業保険)制度が整備されています。あるいは高齢者の方には介護保険制度が整備されてきました。しかしながら、メンタルヘルス(こころの健康)が障碍された場合はどうでしょうか。疾病領域に入る前の

セーフティネットが非常に脆弱だと協会では理解しています。

eMCの理想であり目指すところは、このセーフティネットを担う人材を、地域あるいは職場で、そして学校や家庭で輩出することです。誤解を恐れずに例えれば、臨床心理士や精神科医が法曹界における司法書士や弁護士だとすれば、街の法律家である行政書士のような身近な存在になることです。授業はできない一方で、個々の課題の根本的解決の可能性も、また持ち得ると考えています。

EMCA全国支部会発足

新たに資格認定試験が開始された仙台はじめ、今年大阪でも試験会場の設置と、eMC有資格者も全国に拡がってきています。協会がビジョンの一つとして掲げる、地域における活動基盤となるべく、今年度発足したのが「EMCA全国支部会」です。

これは会員相互のコミュニケーションを通じたネットワークの構築や個々のスキルアップのための研修活動に止まらず、地域における会員活動のベースとして、今後大きく発展させていきたいものです。

初年度はまず、会員の所在地別に全国を3ブロック、各ブロック2エリアから開始としました。今後は一定の人数に達したところからブロックやエリア分割を行う予定です。各エリアには副支部長を配し、それをブロック支部長がまとめるという形をとりました。会員の皆様におかれましては、全国支部会の設立を機会にぜひ積極的な支部活動へのお願いと同時に、支部会を通じての協会活動に繋がっていただければと存じます。

(EMCA理事長 松田直之)

EMCA全国支部会の基本方針2021

「全国支部会」発足にあたり以下の三大基本方針(目的)を策定する

- 1 > 地域社会にこころの健康セーフティネットの構築を
- 2 > 会員同士の相互交流及び相互研鑽の場を提供
- 3 > 支部会活動を会員の協会活動への窓口にする

左/ライブ配信は複数のプロの映像スタッフの技術力で成立しています

中/松田理事長の熱量は画面の向こうのeMCたちにしっかり届きました

右/今回も会場はコンフォート新宿で開催されました





総会での
スペシャルコンテンツ

分科会研修会 14:00 ~ 16:00

恒例の午後の研修会。今回は、ブリーフセラピーの研究者、長谷川明弘先生と、EMCA教務顧問であり、キャリアコンサルティングの専門家でもある杉山 崇先生に、それぞれ会員の皆さんがとても興味を覚えるテーマで研修をお願いしました。



EAPメンタルヘルスカウンセラー 活動コンテスト 2021 & 第4回 EMCA オフィシャル研修プログラム

表彰式



EAPメンタルヘルスカウンセラー活動コンテスト2021

- 最優秀実践賞 吉田 彩子さん (株蒔いで 代表)
- 優秀実践賞 藤井 亜紀さん (通信販売企業ダイバーシティ推進部)
- 優秀実践賞 北見 利子さん (有料老人ホーム/施設ケアマネジャー)
- 特別賞 藤 道春さん (環境省エネ機器製造販売メーカー)

第4回 EMCA オフィシャル研修プログラム

- 起案者 木田 豊美さん
- 研修テーマ 『ラインケア入門』

2つのコンテストがEMCA総会のお馴染みコンテンツの一つとなつて4年目。「EAPメンタルヘルスカウンセラー活動コンテスト2021」は、今回もEMCとして会員の皆さんのお手本や活動のヒントとなる支援活動を実践されている方、学びを自身のスキルアップや自己成長に活かされた方々を表彰するものです。今回4名の方が受賞されました。皆さんにはご来場いただき、表彰式を行いました。そして、最優秀実践賞に輝いた吉田さんによるZOOMを通じたプレゼンテーションを実施。等身大の親しみやすい実践活動の内容は「こんなふうにも自分もやってみよう」と誰もが思ったに違いない素晴らしいものでした。「とても共感できて自身も一歩を踏み出そうと思えました」「ヒントとモチベーションを得ることができてよかった」といった声が集まりました。

今年「特別賞」は、このコロナ禍の一年のなかでeMC資格やEAPの学びを支援に役立てることができた！という方を総会の場で再公募しました。その結果はなんと「今こ」で発表！受賞者は、藤道春さんです。おめでとうございます！

「EMCAオフィシャル研修プログラム」は、EAPならではの、地域や職場でのメンタルヘルスケア普及活動を、研修コンテンツの提供という形でサポートする取り組みです。公募作品から優れた研修プログラムをEMCAが認定、誰も



上/最優秀実践賞の吉田さん。300人を前にプレゼンテーション。活動がとてもわかりやすく、共感を覚える内容で大好評でした。左/オフィシャル認定された木田さんの「ラインケア研修」の教材の一部を紹介。

が支援に使っていただけたらという研修教材と運用ノウハウを提供します。今回は木田豊美さんの「ラインケア入門」が採用されました。文字と図などのバランスが良く、情報が見やすく整理された教材で、わかりやすい点が評価されました。

プログラムはこの後、EMCAのテクニカルサポートを加えて完成させた後、秋には運用研修会を開催、すべての会員の皆さんに活動支援ツールとして活用いただけるようになります。

研修 A ブリーフセラピーの見立て

関係性を把握しながらのオンゴーイングアセスメント

講師：長谷川明弘先生
東洋英和女学院大学人間科学科教授
受講者：121名

◆研修のねらい

リカレントのEAP講座で皆さんが学習したブリーフセラピーの介入技法を、より効果的に使うためには、クライアントの見立てが重要です。そこで、ブリーフセラピー独特のオンゴーイングアセスメントを理解し、その使い方を具体的にイメージできるようになることをねらいとしました。



まず、ブリーフセラピーの特徴である、面接を通じてクライエントが捉えている「世界」との関係性を考慮に入れながら作業仮説を持ってアセスメントと介入を柔軟に行うことを理解しました。その上で「オンゴーイングアセスメント」において、ブリーフセラピーの見立てに欠かせないセラピスト・クライエント関係の3タイプを教えていただきました。途中にブレイクアウトセッションも交えて、その実際を皆さんに試していただきました。もつと時間がほしい濃い内容でした。

研修 B クライエントのための統合的カウンセリング

何が心理で、何がキャリアか？

講師：杉山 崇先生
神奈川大学人間科学部教授
受講者：176名

◆研修のねらい

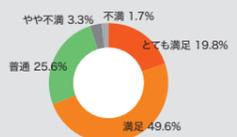
心理とキャリアのカウンセリングの枠組みは同じであり、EAPは働く人に対応するため、職場の悩みや職業選択の迷いをどう扱えばいいのか、混乱してしまうことが少なくありません。そこで、キャリアと心理のカウンセリングの違いや共通点を整理し、クライアントのために活用する方向性について考察しました。



「実はC.Rogersが心理療法とカウンセリングの区別を嫌ったところから、カウンセリングの適用範囲がわかっていきました。どこまでが心理カウンセリングで、どこまでがキャリアカウンセリングなのか？複雑なクライアントの悩みに対して明確な線引きはできるのか？杉山先生に、あらためて心理とキャリアのカウンセリングの着眼点の違い、アセスメントや対応方法を事例を通じて解説いただきました。その上で、心理とキャリアの統合的カウンセリングも視野に入れる重要性を教えていただきました。

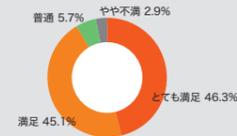
受講生の声

- 問題解決ではなく関係構築という視点からうろこが落ちた点でした。因果関係を追求しない考え方や、ソリューションの前提となる傾聴の大切さを再確認しました。
- ブリーフセラピーの実践的なやり方(スクリーニング・例外探し・リソースの探し方)がわかってよかった。
- ワークの時間が短かったのでスケール質問もミラクル質問もできずじまいでしたが、その意味合いや効果をイメージできたので、今度の活動に活かしていきたいと思いました。
- 「ちょっとした違いを見つけたい」ということが、あらためて得た気づきでした。
- 専門的で全体的にボリュームがあり、もう少し時間がほしかったです。



受講生の声

- 心理の視点と社会の視点を併せ持つことの大切さにあらためて気づきました。
- 「心理療法とカウンセリングは別」と最初にはっきりおっしゃっていただいたのは、驚きでした。
- これまでeMC資格の勉強ではキャリアからの視点は持っておらず、反対にキャリアコンでは心理の視点は無いと思っていたため、すべてが繋がっているということを実感することができた。
- キャリアを支援することで希望が見えたり、生き生きしたりと、メンタル不調も防ぐことに繋がるとあらためて思いました。
- 心の変化を促すきっかけを作っておけるのが私たちの役目とあらためて実感しました。





優秀実践賞 北見 利子さん

KITAMI Toshiko

福祉の世界で長年キャリアを積み上げてきた北見さん。コロナ禍が福祉の現場と北見さんにもたらしたものは？

これから介護に特化したストレスの解消のノウハウをどんどん構築していったら、介護される人・する人、両方のメンタルヘルスに関わっていききたい。

手応えを感じていた矢先にコロナが！

2017年にeMCとなり、早速の翌年に「第1回オフィシャル研修プログラム」に応募、北見さんの「新人介護職の離職予防メンタルヘルスの視点から」という研修コンテンツは現場の視点と経験に裏付けされた実践的なもので、見事にオフィシャル認定を受けました。さらに翌年には、社内の介護研究第会で全70ホームの中から優秀賞6ホームに選ばれたそうです。

「EAPでの学びをアウトプットすることで、一步を踏み出して手応えを感じていた矢先にコロナが！ 介護の現場でト

されたことは予想外でした。しかし、認知症ではない方々は人と関われないストレスにより、感情のコントロールが難しくなったり、理解力や判断力が低下し、利用者同士のトラブルが多発。また、支援員への暴言といったカスタマーハラスメントによるスタッフの抑うつや離職も、この半年で頻発しました。私自身、20年以上の高齢者支援のなかで、初めて「お前なんかいなくなればいい」というハードな言葉を食らい、利用者の暴言で鬱になる若いスタッフの気持ちに共感できるようにになりました（苦笑）。

コロナ禍で見えてきたもの

そんな北見さんでしたが、昨年9月から有料老人ホームのケアマネジャーへ異動。約50人の利用者のケアプランを作成しながら、スタッフの鬱予防、離職予防に取り組んでいます。

「昼間は現場対応や外部からの相談も受けるし、目の回るような忙しさで、やつとケアプランを立てられるのは、残業で18時以降。ここ一年は本当に大変です。でも、日々の利用者さんの変化に、より一層注意を向けることや、自身の学びの歩みは止めないようと思っています。コロナによって新たなメンタル支援の課題も見えてきました。利用者さんのストレスがスタッフにもダメージを与えるんです。介護者のつらさはどうやって解放すればいいのか、いろんなアイデアを

「人を支えるのが好きで、裏方にやりがいを感じているけれど、たまには存在感を出したい、かな。これは趣味で続けているオーケストラでのパート、控え目だけど、奏でる音色は際立つ打楽器と一致しています」。



何十年ぶりかで趣味だったピアノに復帰。ピアノの音色は心を癒してくれます。

メンタル不調社員の増加と考えた環境づくり

「新型コロナウイルスで原則テレワークとなり、メンタル不調を訴える人が増え、また突然、会社に来られなくなり休職に入ってしまう人も複数出てしまいました。ダイバーシティ推進部に相談があるのは、「休職する」直前のタイミングになってから。もう少し早くSOSをキヤッチできないか、そのためには、より相談しやすい環境整備が必要と考えました。そこで心身の健康ケアと健康経営の推進も狙って保健師の直接採用に踏み切りました。次に、会議室を空けてもらい、誰もが気軽に相談できる場として「ウェル・サポルーム」を作りました。「ウェルネス」と「ウェルビーイング」の実現をサポートし、身体・精神・社会的にも満たされ、社員がイキイキと輝くことを目指して名付けたものです。

社内周知を行った結果、面談数は予想を超える数字となりました。「産業界では敷居が高く、人事では会社に情報が伝わるのではないかと抵抗を感じていた人の相談の受け皿を作ることができたと思います。この取り組みにより、相談からキヤッチされた「会社として対応が必要な案件」についても、EAPの学びも活かして落ち着いて判断できるようになったと感じています。また、メンタル不調者のサポート体制の強化について、説得力を持って会社に方針を打ち出すこ



優秀実践賞 藤井 亜紀さん

FUJII Aki

15年間の経理からまさかのダイバーシティ推進部への異動。戸惑いを決意に変えて、わずか数年で藤井さんはこんなに頼もしい内部EAPとなりました。

「仕事で困った時、何かに追い詰められた時、この言葉を唱えると、なんでもいからまずは一歩、と思えるのです。客観的になれるのかもかもしれません。」

思いもしなかった人事異動

「このまま定年まで経理でいくのかと思っていたので急に異動になってビックリ。ダイバーシティ推進部では、制限がある人も、ない人も、すべての従業員がいきいきと働いて成果を出せる環境をつくるという目的のもとに、例えば育児、介護、治療の両立支援、健康経営、LGBTへの理解、障害者採用などを扱っています。現在は、給与・労務担当を合わせて10人のチームです。新設の部署だったので、はじめはすべてが試行錯誤で精一杯。そのうち業務の中で、さまざまな相談を受けることも増えたので

が、私自身、人事部門が初めてだったこともあり戸惑いも多かった。なので面談スキルを学ぶためキャリアコンサルタントの資格を取得しました。けれど、相談のほとんどがメンタルに関するもので、対応の仕方やリファーマなど迷うことが多く、キャリアコンの学びだけでは到底足りないなと思って思ったんです。

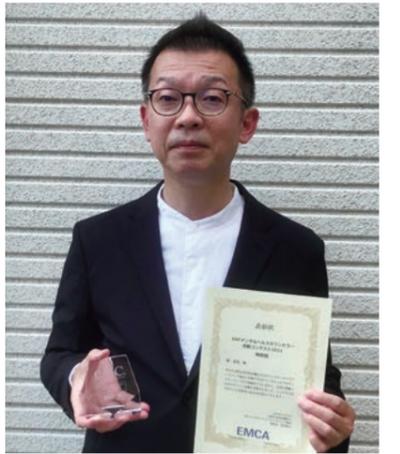
EAPカウンセリングを学んで、実際に面談現場で「気づき」が多くてビックリしました。それまではこんなこと聴いていいの？と迷っていた点ですが、しっかり話を聴けるようになった。怖がらずに相談対応できるようになりました。そこは大きいと思っています」。



上:「ウェル・サポルーム」は光の入る開放的な心地よい空間
下:保健師さんの温かな人柄の力もあって相談件数は予想以上!



オーケストラでも重要なパートを担う藤井さんは、従業員の皆さんが心健やかにいられるように、これからもダイバーシティ推進部で、なくてはならないパートを担っていくでしょう。



特別賞
藤 道春さん

TOH Michiharu

コロナ禍という「特別」だったこの一年間。コロナによる困難な状況に対してEAPの学びや実践スキルを対人援助に効果的に活かしたeMCに授与することとした今回の特別賞。EMCA総会で再公募した結果、今年度は藤さんに決定しました！

**制限下で落ちたチームのパフォーマンスと
コロナ禍での自身の活動へのモチベーション。
ゴールは「チームも元気にする」でした。
始まりは自分のためだった**

「5年前、うつ状態で休職した後にメンタルヘルスマネジメント資格があると知り、自分のためになるかと思い勉強を始めました。調べていくうちリカレントにたどり着き、カウンセラーに興味を持ってEAP講座を受講。でも、この時はまだ自分のため、同じように苦しんでいる誰かのために役に立てれば、と思ったのは、受講を始めてからしばらく経ってからです」。

環境省エネ機器の製造販売メーカーに勤務している藤さんは4年前にeMC資格を取得し、リカレント仲間とサークルを作って勉強会やカウンセリングの実践に取り組んでいました。EMCAが新宿区

NPO協働推進センターで行う地域支援「EMCAまちなか相談室」のお手伝いも含めて、積極的に活動していました。

コロナ禍での取り組み

その後、勤務地が都内から離れたところへ変わったこともあり、藤さんは活動を社内活動にシフトしていきました。「仕事の面では、コロナ禍でいろいろなことが制限されていたことで、チーム内の、通常ならうまく流れていくことも少しづつズレが出てきて、チームとしてのパフォーマンスが落ちてきているなど感じていたんです」。

そして、個人的には、学ぶ機会や人との繋がりなど、外部での活動が減少してしまつたことで、モチベーションを維持することが難しくなっていた。それが今回のコロナ禍を意識した特別な活動のきっかけです。

目標は、生産性の向上に向けて、まずチームの雰囲気をよくすること。そのために個々のメンバーをもっとよく知る必要があると考えました。そして、自分がこの状態の中でもモチベーションを維持するために何ができるかを考えることでした。簡単に言うと「チームも自分も元気にする」ですね。

実践したのは、チーム全員への1on1面談と女性だけのワークショップでした。「今、仕事でモヤモヤや不安はないか？」を尋ねる1on1は昨年の6月〜12月に実施。心がけたことは、傾聴に徹する、と自己満足にならないようにする、の2点。

30分×15名×6ヶ月と正直きつかったですが、成果として、今年に入りチームがまとまり出しました。チーム内のコミュニケーションや連携が明らかに増えました。分析すると、各人が相手のことを思いやる余裕ができたからだと思います。

一方で、自分は傾聴の難しさをあらためて感じました。「相手が主役」を忘れてアドバイスに走る自分に気づきました。が、今回短時間の長期戦でやったことで、実践と反省の繰り返しでできたことは蓄積になったと思います。そして、相手から引き出すための信頼関係の大切



EMCAまちなか相談室で一般の方の相談に乗る藤さん。講演会で新宿区民へメンタルヘルスの大切さも語りました。

第8回通常総会参加者の
皆さんの声 (抜粋)

今回、午前中の総会には約300名の方にご参加いただきましたが、アンケートにも200名を超える回答をいただきました。どうもありがとうございます。皆さんの声を今後の総会や協会運営に活かしていきます！



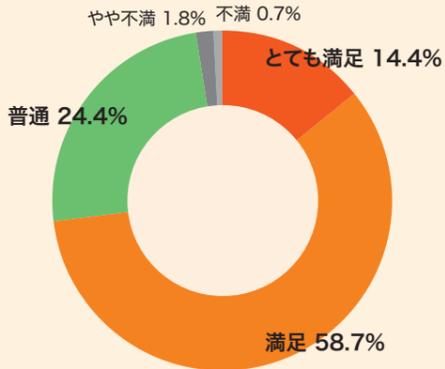
Q. EMCA全国支部制度について

- 支部活動の説明、支部長の想いを聴いて、今後の活動が楽しみになった。
- 支部制の導入という、新たな起点が、集団と個とそれぞれのレベルアップに向けての第一歩になる気がしました。
- 支部会の設立や今後の活動計画等、具体的に聴けてよかった。支部長さんのお姿とお話を聴かせていただき、支部会への意識が高まりました。
- 支部会ができるので、学びや活動など今より動きやすくなるのかと感じてワクワクしております。
- 全国支部がスタートすることにより、EMCAの名前がもっと周知されることを期待する。
- 新支部長さんたちの熱心な思いに感銘を受けました。今後に期待できそうな感想を持ちました。
- 今後の活動方針や皆さんの思いが温度感を共有する形で聴けたことがとても良かった。
- カウンセラー同士の交流や実際のカウンセリング実践の場が多くできると良いですね。

Q. EMCAに今後あったらいいと思う企画やサービスはありますか？

- カウンセラーとして地域の人々の悩みを聴く活動できる場があると良いな。
- 大企業で内部EAPで活動している方の講演などがあれば嬉しい。
- より現場に近いレベル、立場で体験・経験できる研修を希望します。
- 無料の研修プログラムがもう少し増えると、勉強がしやすいです。
- TwitterやFacebookで認知度を上げてほしいです。
- 人のお話を聴くボランティアでの支援提供の場があるとよいと思います。
- オンラインカウンセリングのシステムの完成。スタートを心待ちにしております。
- セミナー等の受講歴とポイント管理、更新までの手続きの管理などができるマイページのサービスがあると嬉しいです。
- 気軽に活動や悩みを相談できる少人数のグループディスカッションが行えたら嬉しい。
- 一つの療法を深掘り、スキルアップできるような研修体系。
- メンタルヘルスの社内研修をやっている会員の方の企業訪問、勉強会
- ボランティア情報、おすすめ書籍の案内、資格取得後の相談窓口(支部でできれば)。
- ペーパーカウンセラー向けの研修があればと思います。
- ネット上で個人が発信できるような掲示板のような場所があってもいいと思います。
- ちょっとした質問をチャットやLINEなどで気軽に聞けて答えをもらえるシステム。
- スキルアップのためのeラーニング教材
- EAPカウンセラーとして起業したり、内部EAPを提案したりするための、起業家コンサルタントの研修があればと思います。
- CPカウンセリングの頻度を増やしていただきたい。

Q. 総会はいかがでしたか？



Q. 理由や感想を教えてください

- 松田理事長からこれまでの経緯も振り返りながら今後の説明もいただけたことで、今後目指すべき協会としての方向性を再確認できました。
- 職能別部会の予定や、オンラインカウンセリングの研修など、気になっていたことがわかりました。
- 資格取得後の活用の見通しが構造化されている点はとても評価できる。
- 資格を取ったが活かせる場が見つけられず困っていた。そのような場所を作ろうと考えてくださっていることがわかり、希望が持てた。
- 支部制度導入やカウンセラーとしてのさらなるスキルアップなど、新たな展開を感じました。
- 昨年と比べて進行がスムーズでわかりやすく、リラックスしながら参加することができました。
- 今後の支部会について詳しく聞け、私たちの活躍の場が広がることに楽しみに思いました。
- 回を重ねるごとに勉強になること多いので助かっています。
- コロナ禍の中でも、であるからこそ逆に活動の幅を広げられるいい機会であることを実感できた。新規会員も200名超えていて、活動の重要性をより確信できたと思う。

Q. EAPメンタルヘルスカウンセラー活動コンテストはいかがでしたか？

- 自分にもできることがないか、考えるきっかけとなり、良かったです。
- 実際の活動内容が聞けると刺激になりますし、いろんな場所で活躍していけるんだなぁと思えました。
- 自分に何ができると考えながらプレゼンを拝見しました。ヒントとモチベーションを得ることができて良かったです。
- 学んだ知識を仕事に活かしながら、活動している方がたくさんいて、良い刺激を受けました。
- 皆さん、コロナ禍でもしっかり活動されていて凄いなと思いました。お話を聞いて、傾聴とセルフケア大切だなと思いました。
- 素晴らしいと思えました。会員の方の取り組みを通じて、自分自身でもやりたいことや足りないことがわかり、とても有意義な時間でした。
- 私も今いる場所で頑張っていこうと思いました！
- カウンセリングを大上段に構えず、身近でできることから始めることでも、自分や周囲の力になるように思えた。
- いろんな職業分野でメンタルヘルスカウンセラーは必要とされているんだなと、つくづく思いました。

Q. オフィシャル研修プログラムの企画についてはどう思いますか？

- 良いと思います。どんどんEAPカウンセラーが能力向上できる機会が増えると嬉しいです。
- 勉強になる企画だと思います。活用してスキルアップしたいです。
- 初めからメンタル不調の人を対象にした仕事でなくても、学んだ知識が活かせる方向性を探るためのヒントになりました。
- 現場主体で考えられる良い企画。実際に導入した事例紹介があるとさらに良いと感じました。
- スキルアップしていくのに良いなと思った。
- オフィシャル研修プログラムを自分の職場に合うように2次加工できると、プログラムの利用がしやすいと思いました。
- 会社で自ら作成したメンタルヘルス系の研修資料が問題はないか、審査してもらえたりすると、安心して従業員に研修できるようになると思います。

支部役員 公募によって選出された各ブロックの支部役員・支部委員の皆さんをご紹介します。

関東ブロック



支部長
佐藤 隆一さん
通信企業役員
EAP 個人事業主

昨今のインターネットやITの進展に伴い、社会の変化のスピードは過去にない速さです。その上、コロナ禍や自然災害などで強いストレスを感じている人が増え続けています。支部活動を通じて倒れそうな人や前に進むことができない人に寄り添い、社会のセーフティネットを、皆さんと一緒に構築していきたい。



東関東&東北エリア
副支部長
高橋 和裕さん
企業経営
EAP 個人事業主

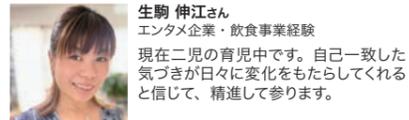
コロナ禍で人心が荒れている時代。今、我々eMCは何ができるのか、どうすればより良い明日を創れるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。



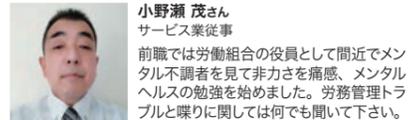
北関東&信越エリア
副支部長
岸 美咲さん
企業人事総務職

eMCはこれからの社会において、とても重要な資格だと感じています。皆さんが安心して活動できるよう、支部役員を通して少しでも貢献していきたいと思っております。

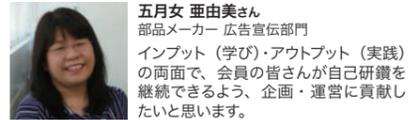
支部委員



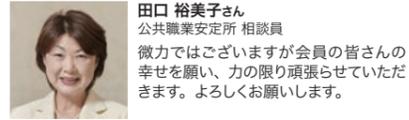
生駒 伸江さん
エンタメ企業・飲食事業経験
現在二児の育児中。自己一致した気づきが日々に変化をもたらしてくれると信じて、精進して参ります。



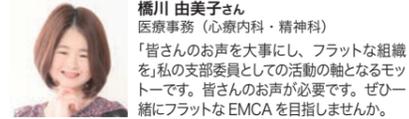
小野 茂さん
サービス業従事
前職では労働組合の役員として間近でメンタル不調者を見て非力さを痛感、メンタルヘルスの勉強を始めた。労務管理トラブルと隣りには何でも聞いて下さい。



五月女 亜由美さん
部品メーカー 広告宣伝部門
インプット（学び）・アウトプット（実践）の両面で、会員の皆さんが自己研鑽を継続できるよう、企画・運営に貢献したいと思ひます。



田口 裕美子さん
公共職業安定所 相談員
微力ではございますが会員の皆さんの幸せを願い、力の限り頑張らせていただきます。よろしくお祈りします。



橋川 由美子さん
医療事務（心療内科・精神科）
「皆さんのお声を大事にし、フラットな組織を」私の支部委員としての活動の軸となるモットーです。皆さんのお声が必要です。ぜひ一緒にフラットなEMCAを目指しませんか。

東京ブロック



支部長
獅子野 正昭さん
教育企業経営
EAP 個人事業主

私のミッションは「この国に、未来に、人の心に火を灯す！」です。これから皆さんと活動を通して東京中に火を灯していきたい！その前提として、何より支部の皆さんがより楽しく元気に幸せに、思う存分活動できるようにすることが必要です。微力ではありますが組織経営スキルという強みを活かし貢献して参ります。



多摩エリア
副支部長
藤原 公子さん
個人事業主
(モニター調査、健康ケアサービス、キャッシュフローコーチ)

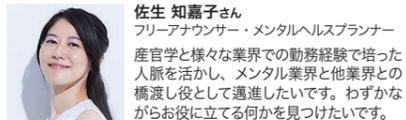
誰もが自分らしく生きやすい社会を目指して、私たちが「信頼おける第三者」になれるような活動をしていきたい。「安心・安全・ポジティブな場づくり」を心がけています。



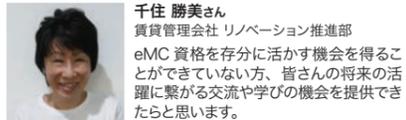
西東京エリア
副支部長
伊藤 俊彦さん
薬剤師
EAP 個人事業主

我々の活動を認知してもらいEMCAを強くすること、それが多くの方のためになるという想いを持って一歩踏み出してみました。皆さんと一緒に作り上げていきたいです。

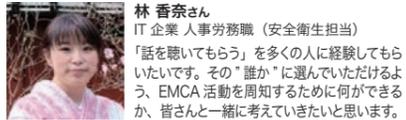
支部委員



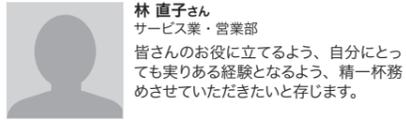
佐生 知嘉子さん
フリーアナウンサー・メンタルヘルスプランナー
産官学と様々な業界での勤務経験で培った人脈を活かし、メンタル業界と他業界との橋渡し役として邁進したいです。わずかながらお役に立てる何かを見つめたいです。



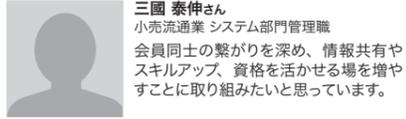
千住 勝美さん
賃貸管理会社 リノベーション推進部
eMC 資格を存分に活かす機会を得ることができない方、皆さんの将来の活躍に繋がる交流や学びの機会を提供できたらと思ひます。



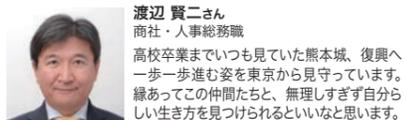
林 香奈さん
IT 企業 人事労務職（安全衛生担当）
「話を聞いてもらう」を多くの人に経験してもらいたいです。その「誰か」に選んでいただけるよう、EMCA 活動を周知するために何が出来るか、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。



林 直子さん
サービス業・営業部
皆さんのお役に立てるよう、自分にとって実りある経験となるよう、精一杯務めさせていただきます。



三國 泰伸さん
小売流通業 システム部門管理職
会員同士の繋がりを深め、情報共有やスキルアップ、資格を活かせる場を増やすことに取り組みたいと思ひます。



渡辺 賢二さん
商社・人事総務職
高校卒業までいつも見ていた熊本城、復興へ一歩一歩進む姿を東京から見守っています。縁あってこの仲間たちと、無理しすぎず自分らしい生き方を見つけれたいと思ひます。

西日本・神奈川ブロック



支部長
伊藤 伸之さん
製薬メーカー
人事総務職

世の中の環境の目まぐるしい変化の中で働き方も大きく変わり、メンタルヘルス不調を訴える人たちも増加していますが、その受け皿となる相談者（カウンセラー）の存在を知らなかったり、ストレスコーピングを上手くできない人たちが多くいます。そんな方々が気軽に相談できる環境を構築したいと考えています。



神奈川エリア
副支部長
小野 勝弘さん
キャリアコンサルタント
法人経営

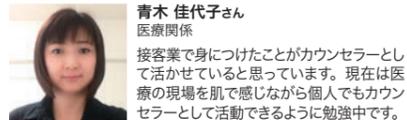
初年度なので、次年度以降に繋がるような活動をしていきます。本部とは被らない領域の学びの場づくりと、コミュニケーションを重要視したいです。



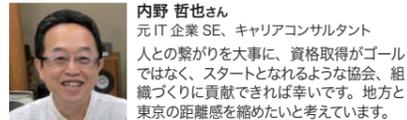
西日本エリア
副支部長
亀山 絹美さん
企業人事総務職

一緒に学びながら個々が備えた高度な知識と実践力をもって、問題を抱える方々の思いに寄り添いながらサポートができる支部に成長していければ、と思っております。

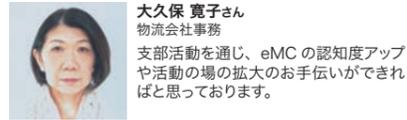
支部委員



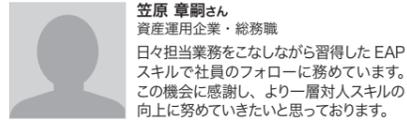
青木 佳代子さん
医療関係
接客業で身につけたことがカウンセラーとして活かせていると思ひます。現在は医療の現場を肌で感じながら個人でもカウンセラーとして活動できるように勉強中です。



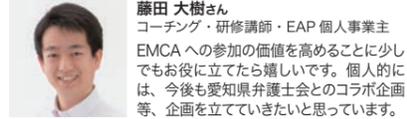
内野 哲也さん
元IT企業SE、キャリアコンサルタント
人との繋がりを大事に、資格取得がゴールではなく、スタートとなるような協会、組織づくりに貢献できれば幸いです。地方と東京の距離感を縮めたいと考えています。



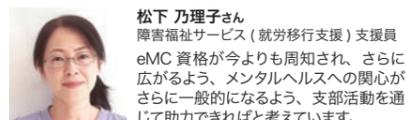
大久保 寛子さん
物流会社事務
支部活動を通じ、eMCの認知度アップや活動の場の拡大のお手伝いができればと思っております。



笠原 章嗣さん
資産運用企業・総務職
日々担当業務をこなしながら習得したEAPスキルで社員のフォローに務めています。この機会に感謝し、より一層対人スキルの向上に努めていきたいと思ひます。



藤田 大樹さん
コーチング・研修講師・EAP 個人事業主
EMCA への参加の価値を高めることに少しでもお役に立てたら嬉しい。個人的には、今後も愛知県弁護士会とのコラボ企画等、企画を立てていきたいと思ひます。



松下 乃理子さん
障害福祉サービス（就労移行支援）支援員
eMC 資格が今よりも周知され、さらに広がるよう、メンタルヘルスへの関心がさらに一般的になるよう、支部活動を通じて助力できればと考えています。

2021年7月1日 EMCA全国支部会 キックオフ!

EMCAでは今年度の重点活動施策のひとつとして
2021年7月1日にEMCA全国支部会を発足、
運用がスタートされました。

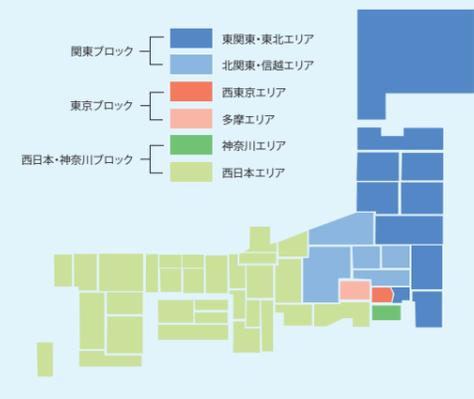
EMCA全国支部会 設立のねらい

EMCA全国支部会を設立した目的は、EAPの大切さを発信し、人のこころの健康をサポートするネットワークの形成や、地域に根差した支援活動の推進、及び会員相互の交流と親睦を図ることです。今後はこの組織を通じて、会員皆さんの一層の成長と地域への貢献に取り組みで参ります。

支部会は、発足時は全国を3ブロックに分けて運用します。各ブロックで特色を出しつつも、基本的な部分では統一した考えで運用することを目指します。

支部名	エリア	対象地域（会員居住地域）
関東ブロック	東関東・東北エリア	東京東部地区：東京都東部10区（※）・千葉県・茨城県 北海道・東北地区：北海道・東北地方6県 ※特別区東部10区 足立区・荒川区・台東区・葛飾区・墨田区・江戸川区・江東区・千代田区・中央区・港区
	北関東・信越エリア	埼玉県・群馬県・栃木県・新潟県・長野県
東京ブロック	西東京エリア	東京西部地区：東京都特別区西部13区
	多摩エリア	多摩地区・多摩地域（東京都市町村・島嶼部）・山梨県
西日本・神奈川ブロック	神奈川エリア	神奈川県
	西日本エリア	東海北陸地区：愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・北陸地方3県 西日本地区：大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・兵庫県・和歌山県・中国地方5県・四国地方4県・九州・沖縄地方8県・海外在住者

※3ブロックそれぞれ200～250名の会員が所属しています（2021年7月現在）



EMCA全国支部会 基本方針

- 1 > 地域社会に
こころの健康セーフティーネットの構築を
- 2 > 会員同士の
相互交流及び相互研鑽の場を提供
- 3 > 支部会活動を
会員の協会活動への窓口に

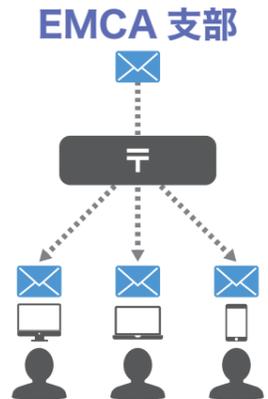
EMCA全国支部会の 運用について

EMCA事務局では支部会の運用についてのガイドラインを用意し、支部役員の皆さんと共有しています。各支部ではこのガイドラインをもとに具体化し、支部役員の皆さんに運用していただきます。ここでは勉強会等のご案内と参加のお申込のしくみについてご紹介します。

支部内の支部役員からの各種のご案内は、メーリングリストのしくみを採用します。（左図参照）

メーリングリストへの会員の皆さんの登録はEMCA事務局で行い、メーリングリストアドレスのみ支部に提供します。支部から会員の皆さんへのご案内はメーリングリストアドレスを使用します。このメーリングリストアドレスにメールを出すことで、支部メンバーの皆さんに自動でのご案内メールが配信されます。

参加お申込は別途メールにてご案内いたします。「申込みフォーム」からお手続きいただけます。個人情報の取扱いについてご確認のうえ、お申込みください。



NEWS 01

EMCAオフィシャル研修プログラムご案内

今回の認定プログラムはこちらです。こちらの運用開始は秋以降となります。この他、これまで6本の研修プログラムが認定されています。いずれも1~2時間ほどの内容で運用しやすいものです。ぜひEMCAのHPで運用方法などご参照ください。

■ 今回の認定プログラム

「メンタル不調を疑ったときに 職場でできるラインケア」
職場でメンタル不調の予防や早期対応機能を果たすラインケア。メンバーの不調のサインに気づいたらどうすればいいのかが整理された教材でわかりやすく伝えることができます。



■ 認定済みの研修プログラム

「職場でのメンタルヘルス対策とメンタルヘルスカウンセラーの活用」
メンタル不調者を出さないためにはどうすればいいの。メンタル不調の実態や不調発生メカニズム、メンタルヘルスカウンセラーや個々の果たすべき役割を伝える研修です。

「新人介護職の離職予防～メンタルヘルスの視点から～」
福祉や医療現場の管理監督者が新人のストレス、自身のストレス、職場のストレスを理解し、メンタルヘルスの視点を持ち、面談技術の向上を目指す導入研修です。

「コミュニケーションがすべての鍵！」
人間関係の問題からくるメンタル不調を回避軽減するために自身のモチベーションやアプローチを変え、周囲と良好なコミュニケーションを図れるようになるための研修です。

「認知と行動の変化～セルフ・カウンセリング～」
認知行動療法のエッセンスを使って、人(自分)の考え方を少し変えるだけでこんなにも生きやすくなるんだと感じられる、心がケアできるような取り組みを伝える研修です。

「職場復帰支援の基礎と外部資源/カウンセラーの活用」
職場復帰支援においては会社側や周囲の対応がとても大切です。管理監督者や支援側への制度の周知の仕方、休職者とのかわり方が学べる研修です。

「ラインケア入門」
職場でメンタル不調者を出さない&早期発見するための重要な機能「ラインケア」。管理監督者が部下のメンタルヘルスをサポートするノウハウが凝縮されています。

NEWS 02

6/13の研修会が映像で学べる！ 総会Special学習サポートサービス

今回、研修A・Bと分かれたことで選択した以外の研修は受講ができませんでしたよね。そこで皆さんのスキルアップのために、総会スペシャルサービスとして、2つの研修会の映像版をご用意しました。当日は受講いただけなかったほう(A/B)の研修が視聴学習できます。しっかりと最後まで学習され、受講証明フォームをお送りいただくとeMC資格更新ポイントも付与されます。



研修A
ブリーフセラピーの見立て
関係性を把握しながらのオンゴーイングアセスメント

研修B
クライアントのための統合的カウンセリング
何が心理で、何がキャリアか？

6/13 EMCA総会研修会【映像版】
受講申込み
<http://s.emca.or.jp/0613sokai>



NEWS 03

2022年 夏のCEAP受験への道

eMCの皆さんはリカレントでEAPコンサルティングコースVer4.0を受講すると、CEAP(国際EAPコンサルタント)の受験要件の一部が免除される待遇が受けられます。学歴不問要件に加えてPDH(必要な学習を履修した証明)を得るための専門研修が免除されます。(受験にはPDHの他相談実務経験1000時間が必要条件にはなりますが、この相談実務には医療や福祉領域でのカウンセリングやキャリアカウンセリングも対象となります)

2022年夏のCEAP受験に対応する「EAPコンサルティングコースVer4.0」が、この秋に開講します。世界で唯一のEAPの国際ライセンス取得を目指してEAPコンサルティングの専門テクニックを学びませんか？ 詳しくはリカレントメンタルヘルススクールまでお問い合わせください。

【EAPコンサルティングコース2021年秋の開講クラス】

曜日	教室	時間	日程(全12回)
水曜日	新宿	10:00~15:50	9/8, 9/15, 9/22, 9/29, 10/5, 10/13
土曜日	オンライン	10:00~15:50	9/11, 9/18, 9/25, 10/2, 10/9, 10/16
日曜日	オンライン	10:00~15:50	9/12, 9/19, 9/26, 10/3, 10/10, 10/17

お問い合わせ:リカレントメンタルヘルススクール
TEL:0120-30-1156 / <https://www.recurent.co.jp/eap/>

NEWS 04

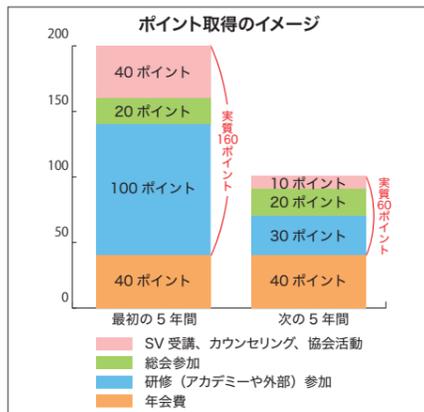
eMC資格の更新制度 —5年更新と更新ポイントについて

eMC資格は、EAPカウンセラーとしての支援スキルの維持向上のために、5年ごとの更新制度となっています。最初の更新に必要なポイント数は200ptですが、年会費にポイントがつくため、160pが更新の際に必要な実質のポイント数になります。さらに、毎年EMCA年次総会に出席すれば5年間で20p取得できます。そして、総会の午後開催される研修に参加することでさらに40p取得できます。このように考えると、5年間で100pを継続学習や実践活動で取得するなど、ご自身によるポイント取得を計画いただくことで資格更新ができることになります。

◆外部でのトレーニングでもポイント付与

カウンセリングや心理学、臨床心理学、産業保健などの関連であれば、外部機関で受けたトレーニング(講座やセミナー)も更新ポイントの対象となります。1時間2pが付与されますが1回につき上限10pと設定されていますので覚えておいてください。ポイント取得には受講を証明する書類(受講費の領収書など)の提出が必要です。

※国家資格キャリアコンサルタントの養成講座の受講は上限10p、資格取得をされると20pが付与されます。有資格者の更新講習の受講は、学習テーマが産業保健に関連するものであれば1講座上限10pが付与されます。



●初期研修課目とeMCポイント

区分	科目名	初期研修制度 受講時間	eMC 資格更新ポイント	受講料 (税込) 正会員価格
必修科目 (21年度)	倫理研修I & II ※IIは映像視聴	3時間	6P	無料 受講必須
	共通要因アプローチ	15時間	30P	39,600円
選択必修科目	システムズ・アプローチ	12時間	24P	31,680円
	認知行動療法ベーシック	15時間	30P	39,600円
実務実践科目	対人関係療法に基づいたカウンセリング療法	15時間	30P	39,600円
	クライシス・カウンセリング	12時間 ※15時間みなし①	30P	39,600円
実務実践科目	カウンセリング・プラクティカム (CP)	10時間	14P	6,600円
	実習プログラム	12時間 ※10時間みなし②	20P	13,200円

※初期研修制度受講時間 登録上は①15時間みなし ②10時間みなし

【必修科目・選択必修科目への受講料補助】

EMCAの法人会員である株式会社日本ライセンスバンクより受けた寄付により、アカデミーの必修科目・選択必修科目の受講料が補助されることになりました。1科目につき受講料の25%が支援され、右記ようになります。対象となるのは2021年4月以降に開講した必修科目・選択必修科目です。(実務実践科目は対象外) 詳しくは講座の申込み時に事務局よりご案内いたします。寄付金額満了に伴い、受講支援は終了となりますので、あらかじめご了承ください。

例) 受講料	39,600円 (税込) の科目
会員負担	29,700円 (税込) [25%OFF]
受講料	31,680円 (税込) の科目
会員負担	23,760円 (税込) [25%OFF]

I. 必修科目

共通要因アプローチ
～効果が出るメソッドを体得する 実務研修

- ① 2021/8/21(土) & 8/28(土) 10:00～18:40
- ② 2021/9/20(月) & 9/23(木) 10:00～18:40

時間 15時間 (7.5H x 2回)

講師 杉山 崇先生

内容

クライアントの自覚している主訴と気づいていない問題を把握して、的確なアセスメント(見立て)ができるようになります。また、共感が4つの質から学び直すので共感力が上がり、関係構築力が劇的に向上します。

I. 必修科目

システムズ・アプローチ
～短期カウンセリングを成功させる 行動変化が起きるメカニズムの理解

- 2021/8/21(土) & 9/4(土) 10:00～17:00

時間 12時間 (6H x 2回)

講師 石川 裕理先生

内容

システムズ・アプローチで「心の成長」という目に見えないゴールではなく、明らかに目に見える具体的な変化の起こし方を学びましょう。短期的カウンセリングを成功させるために必要不可欠な手法を伝授します。

I. 必修科目

倫理研修I・II

- 2021/10/23(土) 16:00～18:00

時間 3時間 (I+II)

講師 石川 裕理先生

内容

I. 基礎編
EMCA倫理ガイドラインを徹底理解し、倫理的に考える視点を身につけます。
II. 活動編
メディアやSNSによる発信やネット環境でのやりとりにおける倫理について学びます。

II. 選択必修科目

クライシス・カウンセリング

- ① 2021/10/23(土) & 10/24(日) 10:00～17:00
- ② 2021/11/6(土) & 11/7(日) 10:00～17:00

時間 12時間 (6H x 2回)

講師 NPO法人メンタルレスキュー協会

内容

人が死にたくなる気持ちを深く理解できるように丁寧な解説と充実した教材。特に死にたい気持ちのある人の対応、誰にも訪れる危機的な状況の後の心のケアができるようになることがねらいです。12名の限定クラスです。

II. 選択必修科目

認知行動療法ベーシック

- ① 2021/9/7(火)～10/12(火) 19:00～21:30
- ② 2021/10/19(火)～11/30(火) 19:00～21:30

時間 15時間 (2.5H x 6回)

講師 井古田 大介先生

内容

認知行動療法に基づくアセスメント(ケースフォーミュレーション)、技法である認知再構成法や行動活性化、行動実験、曝露療法、リラクゼーション法が使えるようになります。実際にカウンセリングの中でどのように使うのが体感できます。

II. 選択必修科目

対人関係療法に基づいた カウセリング技法

- 2021/10/9(土) & 10/16(土) 10:00～18:40

時間 15時間 (7.5H x 2回)

講師 杉山 崇先生

内容

問題は個人の病理ではなくコミュニケーションの不具合とすることで、支援の幅がぐんと広がります。コミュニケーションの分析法を身につけることでアセスメントが的確になり、確度の高い仮説(見立て)を立てられるようになります。

III. 実務実践科目

RMC CP (カウンセリング・プラクティカム)

CP20期 2021年10月～12月

時間 10時間 (50分カウンセリング3回 + 2.5時間SV2回)

実習先 RMC(リカレントメンタルヘルスセンター)

内容

50分のカウンセリングを3回+2回のグループスーパービジョンを実施。逐語記録によりクライアント対応、見立て、展開など細やかな指導を受けることができます。それにより今の実力や課題が明確化され、今後の学習目標が設定できます。

III. 実務実践科目

実習プログラム

実習: 通年開催
導入研修(オリエンテーション): 月1回開催

時間 12時間(導入研修+現場実習+振り返りSV)

実習先 ①八幡メンタルクリニック ②N-Fit キャリアカレッジ日本橋

内容

実習生として精神障害者の支援現場に出向き、支援の実際を見学したり、お手伝いをします。8時間の実習と導入研修、ふり返りのグループスーパービジョンの計12時間がパッケージ。導入研修は月1回開催、実習は通年可能。実習先は選択可能で、レポートもOK。

EMCAアカデミー 2021年度

秋期講座スケジュール

●各講座の開講日程は変更になることがあります。その際には速やかにEMCAメルマガにてお知らせいたします。

●はじめに「I. 必修科目」で基礎のしっかりした土台づくりをしてから専門性が高い「II. 選択必修」を勉強したほうが身につけやすいため、「必修」→「選択必修」の学習順序を推奨いたします。「実務実践」はI・IIと同時に取り組むとよいでしょう。

時代の求める最前線の 支援現場の一つ オンラインカウンセリング

今回はリカレントでスクール教務顧問を務める
神奈川大学教授の杉山 崇先生から
カウンセラーの皆さんへのメッセージをお送りします。

長引くコロナ禍、社会はまだまだ落ち着かない状況ですが、皆さんはいかがですか。
いずれにしても、この先が読みにくくなっていることは誰もが同じです。私たちは社会の中で暮らす生き物である限り、先の社会が読めない、何をしたら良いのか考えられない、動けないですよね。すると人はどうしても不安になるのだと思います。

不安の方程式が示すこと

不安の方程式というものがあります。
これはP.Salkovskisという英国の心理療法家らが強迫性障害の心理教育に活用しているものなのですが、実際にこれで多くの方が不安を軽減することができているのです。人の不安はこのような分数で表されます。

最強最悪の事態における危険性×最強最悪が本気になる可能性
不安＝
最強最悪な事態を防ぐ手立ての有効性

分数なので、分子が“0”でない限り、分母が“0”だと不安は無限大(∞)に膨らみます。つまり、この方程式が示していることは、最強最悪な事態を防ぐのに有効な手立てがないと不安は限りなく大きくなるということなのです。

けれども、「有効な手立て」が見つからない、どんな危機的状況の中にも「一欠片でも幸運を見出すこと、無限大の不安の中にも「希望の可能性」を見出すことが、プ

ロフェッショナルなカウンセラーの基本姿勢だと私は考えています。悩める心に寄り添い、その人の持つ「なんとかよくなりたい」という前に向かった変化の願いや、自己成長の意欲を支えていくのがカウンセラーの仕事であり、専門性であるからです。

コロナ禍のもたらした可能性 オンラインカウンセリング

対人支援の世界に、過酷なコロナ禍がもたらした「一欠片の幸運」「希望の可能性」のひとつは、オンラインカウンセリングではないでしょうか。私はもともと「対面カウンセリング」支持派ではありませんが、新たな面接技術を磨くフェーズに入ったのだと、最近では考えるようになりました。オンラインカウンセリングによって、地方や海外といった距離の壁がなくなり、どこでも対話や心が繋がれるようになったことや、「今、聴いてほしい!」という心の動きの重要なタイミングを逃さない支援ができるようになった。この価値はとても大きいものではないでしょうか。

ですから、カウンセラーの皆さんは、今のうちからいろいろツールによるオンラインでの対話に慣れておくといいでしょう。リアルからネット空間に移っても、人と人の対話の基礎技術は活きるものです。また、自分がクライアントとしてオンラインカウンセリングを体験することも学びが多いと思います。皆さんもこれからオンラインカウンセリングの技術を積み上げて、時代の求める最前線の支援現場に立っていきませんか？



リカレント スクール教務顧問

杉山 崇 先生

Takashi SUGIYAMA

神奈川大学人間科学部教授/
1級キャリアコンサルティング
技術士/臨床心理士

脳科学と心理学を融合させた次世代型の心理療法を開発・研究を行う。うつ病研究、認知行動療法のトップランナー。臨床歴20年以上。著書は20冊以上。講演、TV、雑誌などメディア実績も多数。

→ キャリアコンサルタント国家資格説明会、個別相談会(来校/オンライン)開催中

国家資格の最新情報や、学費の最大70%(最大約34万円)が戻ってくる教育訓練給付金制度(専門実践)の手続きの仕方、eMC資格取得者がキャリアのスキルを習得するメリットなども詳しくわかります。

参加費無料 お電話またはWebサイトよりご予約を。



資料請求
セミナー予約
受付中

リカレント キャリアデザインスクール

新宿 銀座 東京 池袋 渋谷 上野 立川 船橋
大宮 仙台 横浜 町田 名古屋 大阪 神戸 オンライン

0120-67-2048

電話 月～金 10:00～21:30
受付 土日祝 10:00～18:30

リカレントキャリアデザインスクール 検索

EMCA®

EAP Mental health Counseling Association

EMCA機関誌 Cor No.13

2021年7月25日 発行 第5巻第1号 通巻第13号 20052

発行人: 松田直之 編集: BEYOND

制作: コスモメディアラボ/表紙ロゴデザイン: 多田千絵

撮影: 新田洋佑

発行: 特定非営利活動法人 EAPメンタルヘルスカウンセリング協会 (EMCA)

https://www.emca.or.jp/

本書の全部または一部を無断で複製複製(コピー)することを禁じます。